令和４年度　第１回上田ケーブルビジョン放送番組審議会

令和４年９月２９日（木）　１５時～　UCV 本社で開会

【出席委員（五十音順、敬称略）】
岡崎謙一（岡崎酒造株式会社　代表取締役社長）
西田不折（上田市サントミューゼ館長、元上田市教育委員長）
花岡敏道（元東御市教育次長）
堀内和子（株式会社エフエムとうみ　代表取締役社長）
宮﨑義也（坂城町副町長）
宮下俊哉（真田山種月院長谷寺住職、NPO 法人ほこほこネクト理事長）

【UCV 出席者】

代表取締役社長	母袋卓郎
取締役地域情報部部長	中村和己
地域情報部課長	清水望和
地域情報部課長	春原裕佑
地域情報部課長補佐	嶋﨑美江

【委員からの主な質問・意見】

（1）令和４年度上期の実績について

●番組全般について

・知らなかった地域のことを知ることができて、とても良いと思う。
・番組のターゲットは地域住民。１００％の事実を発信し続けてほしい。
・地域で暮らす中で必要なことを大切にして番組制作に取り組んでほしい。

●番組告知について

・番組認知度向上や放送視聴への誘導の一環で、プッシュ通知や YouTube の活用も検討してほしい。すべてでは無くても、番組の一部分（ダイジェスト版）や限定したコンテンツなど様々なやり方があると思う。

・「ロコテレ動画」（アプリケーションを使った UCV の番組視聴）は面白い取り組みだと思った。

・良いものを作っていても PR しなければ消えていってしまう。現状の取り組みを続けつ

つ、別の層を獲得する策を考える必要がある。
・最近は学校でも YouTube を活用する。教材の中に地域のコンテンツが出てきてくれるといいと思う。

●新型コロナウイルス感染症の報道について
・新規感染者数の発表については、視聴者をあおることが無いようバランスをとることに努めてほしい。

（2）令和４年度上期の計画について

（3）番組視聴

●いいね！UCV
・番組の告知番組。見ている中で興味をひかれるものもあった。
・この番組こそ YouTube での発信に向いているのではないか、と感じた。

●UCV レポートから「わが社のニューフェイス」
・これからはいかに安定を目指すか、数ではなく質を充実させるのが大切。企業や人の魅力を発信するのが UCV の役割。
・広く知ってもらうという意味では YouTube も有効と考える。
・良い企画だと思う。新入社員の人柄だけでなく、企業の有り様も見ることができた。
・インターンシップでも使える素材。新人だけでなく、ベテラン紹介でも面白い。

以上